

# 11月・12月の管理ポイント

平成16年10月25日



株式会社 トモグリーンケミカル

ホームページアドレス  
<http://www.tomo-green.com/>

第72号

台風の影響で、10月は十分な日照が確保できませんでした。  
11月はベントの生育期に入り、糖類の消耗が激しくなります。  
12月は休眠期となり、貯蔵糖類を蓄えておかなければなりません。  
十分な糖の供給をおこなってやりましょう。

## グリーンメカ

貯蔵糖類を確保して来春の萌芽期を乗り切る...

11月は、生育期のため糖類消費が激しい時期です。  
曇りが続く天候では、光合成が不十分で、施用した肥料を完全にエネルギーにかえられません。  
グリーンメカを処理して糖類を補給し、12月の休眠期に備えましょう。  
貯蔵糖類が十分にあれば、耐寒性・耐凍性が增强され、来春の萌芽期は均一に芽出しします。

使用量：5～10ml/m<sup>2</sup> 1ℓ/m<sup>2</sup>以上散布

## コ・エンザ

芝生の色出しに...

補酵素の働きで植物内の活性を高め、晩秋にかけて色落ちする時期を遅らせます。  
また、古くなった下葉が焼けたようになり、その後のサッチング処理で、グリーン表層のサッチ(有機残渣)が  
取れやすくなります。

使用量：0.5～1.0g/m<sup>2</sup> 0.5～1.0ℓ/m<sup>2</sup>散布



## カラーメイトプロ・オーダーグリーン

キーパーの好みでお選びください...

カラーメイトプロ：元の芝生の色を浮き立たせるタイプで自然な緑色感が特長です。  
オーダーグリーン(NO.20、50、70、90)：明緑～暗緑までにお好みのタイプを選んで頂けます。  
両剤ともリーフシールドの加用(150～200倍)により、色持ちもよく霜融けを早めることができます。

使用量：カラーメイトプロ 200～400倍 100～300ml/m<sup>2</sup>散布  
オーダーグリーン 50～100倍 150～300ml/m<sup>2</sup>散布



## リーフシールド<sup>®</sup> (アクアトロールス社製)

芝生の耐乾性・耐寒性を高めるには...

リーフシールド処理により葉面はコーティングされ、蒸散が抑えられます。  
葉面温度が下がるのを軽減し、また乾燥からも守ります。  
着色剤との組み合わせにより、葉面温度が上昇し、霜が早く溶けます。

使用量：200倍 150～200ml/m<sup>2</sup>散布

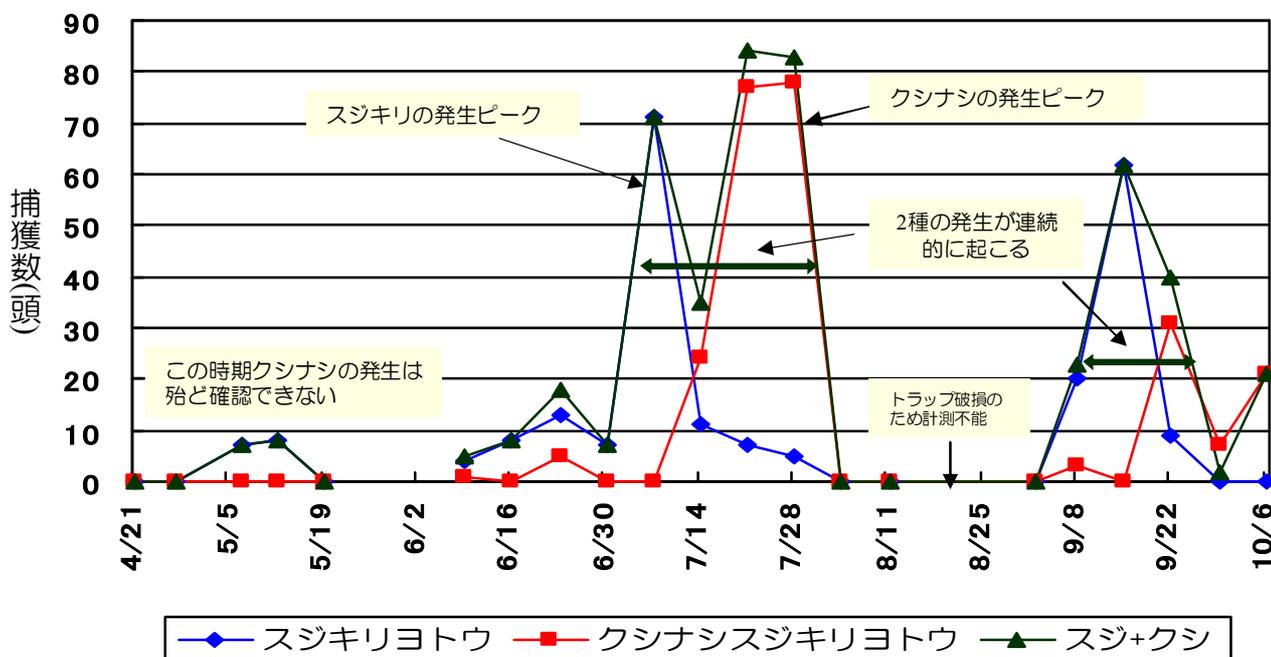
# 猛暑による鱗翅目害虫の大発生

今年の害虫発生状況を振り返ってみると、昨年の冷夏・長雨から一転して、猛暑・乾燥だったので、鱗翅目害虫の大発生のシーズンでした。

特に、シバツトガ、スジキリヨトウは全国的に大発生したと思われます。

静岡県内のゴルフ場で行ったスジキリヨトウ、クシナシスジキリヨトウの発生調査(現在続行中)から、今シーズンの発生状況を振り返って見ましょう。

静岡県 Aゴルフ場 NO.11(1トラップの捕獲数)



スジキリヨトウは、5月中～下旬にかけて1化期の発生が確認できましたが、クシナシスジキリヨトウはこの時期全く確認することが出来ませんでした。

6月中旬に初めてクシナシが確認でき、同時にスジキリの2化期目の発生が確認できました。

7月に入るとスジキリの発生数が急激に上昇し、中旬以降減少しますが、同時にクシナシの大発生が確認されたので、連続して2種のヨトウの発生が確認されました(約1ヶ月間ピークが続いた)。

8月は、トラップが破損してしまい計測不能(恐らく発生はしていたと思われる)。

9月上旬にもスジキリヨトウの発生が確認された後、重なるようにクシナシの発生が確認できダラダラと続いている。

10月には完全にスジキリの発生は収まってしまったが、クシナシは発生し続けている(10/22現在)。

クシナシスジキリヨトウは、スジキリヨトウ用のフェロモントラップで捕獲可能です。

成虫が長期間ダラダラ発生しているようなゴルフ場は、一度確認のためトラップを設置することをお薦めします。

特に、10月以降でスジキリヨトウの発生が少なくなる時期に、成虫の発生が続いているゴルフ場は要注意です!!